

# 令和7年度文部科学省 学校魅力化フォーラム

## 学校再編を機に 地域が学校の応援団に！ ～新しい学校再編の形～



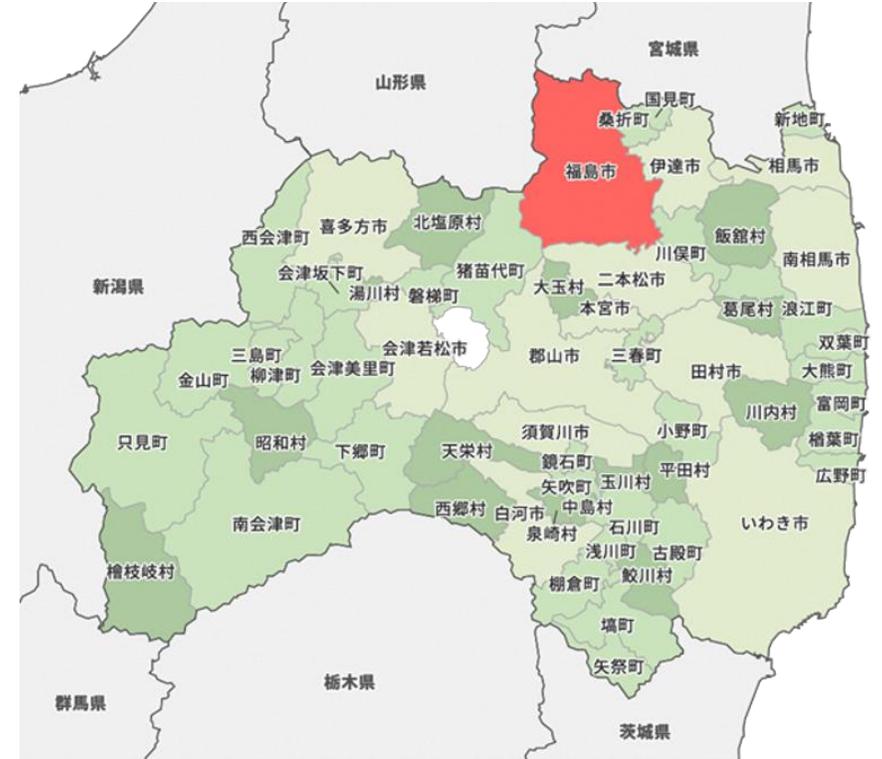
【校章に込めた思い】  
松陵の頭文字「S」の字を水原川  
に飛来する白鳥のイメージと重ね  
て表現している。  
四色の帯は松川の四地区を、九  
つの光彩を放つ星は義務教育の9  
年間を表している。

しょうりょう  
福島県福島市立松陵義務教育学校  
福島県福島市教育委員会

令和8年1月30日

# 1 福島市の概要

- 福島県中通りの北部に位する県庁所在地で、人口約27万人の中核市
- 夏は暑く冬は寒い盆地特有の気候により全国トップクラスの出荷量を誇る桃をはじめ、様々な果物が採れるまさに「果物の宝石箱」
- 令和6年4月に公立夜間中学「天神スクール」(分校)を開校
- 令和7年4月に松陵義務教育学校を開校

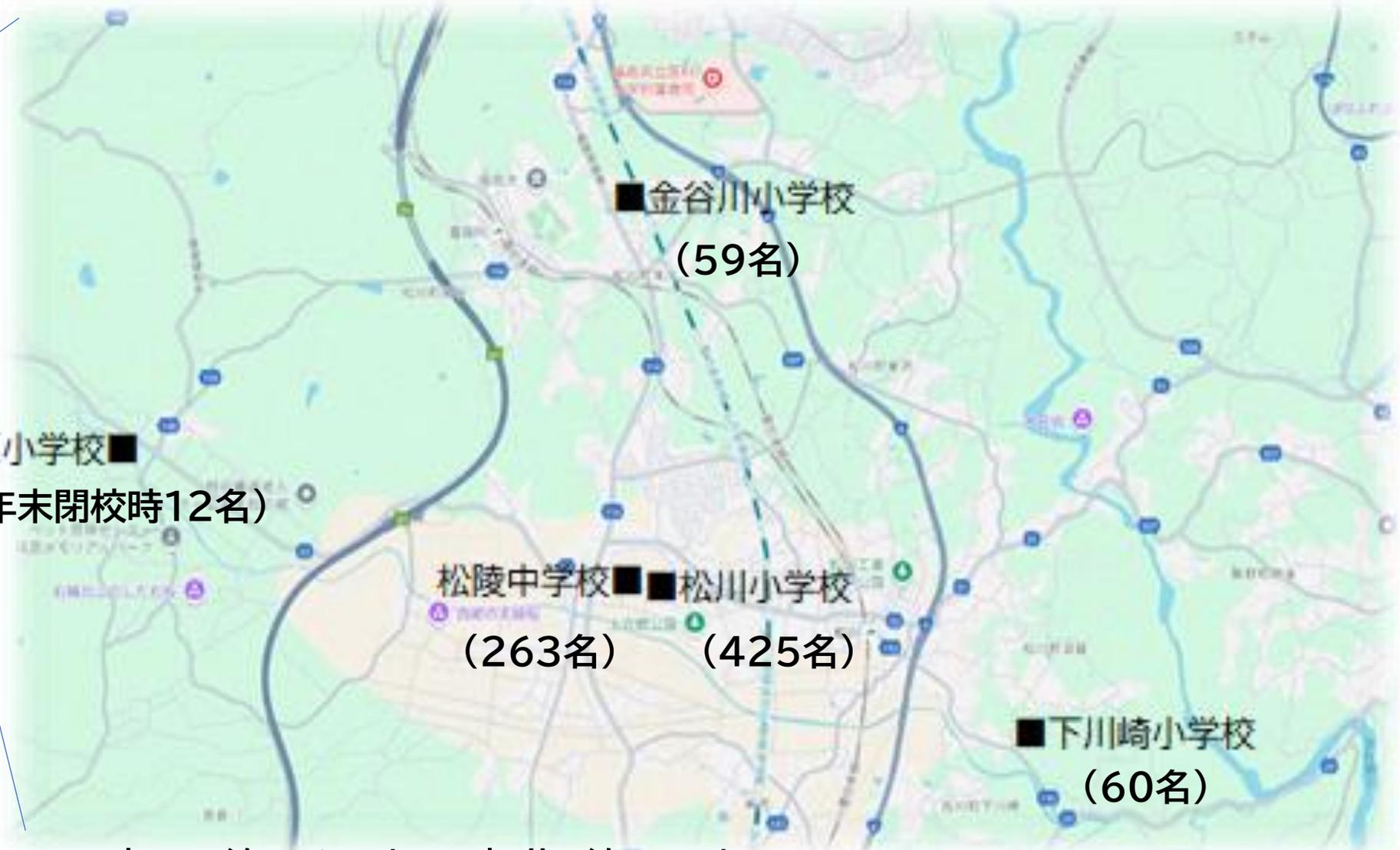
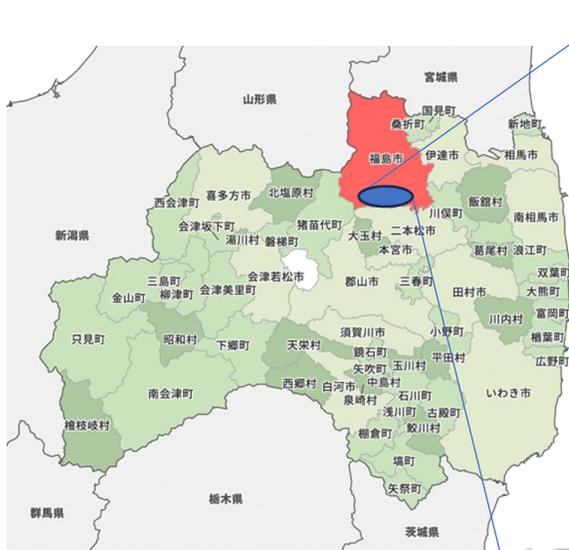


- 市の児童生徒数  
17,715人

(令和7年5月1日現在)

校種	校数 (校)	
小学校	40	61 (分校1を含む)
中学校	19(分校1を含む)	
義務教育学校	1	
特別支援学校	1	

## 2 福島市松川町 (人口1.3万人・再編前4小1中・全校児童生徒数806名)

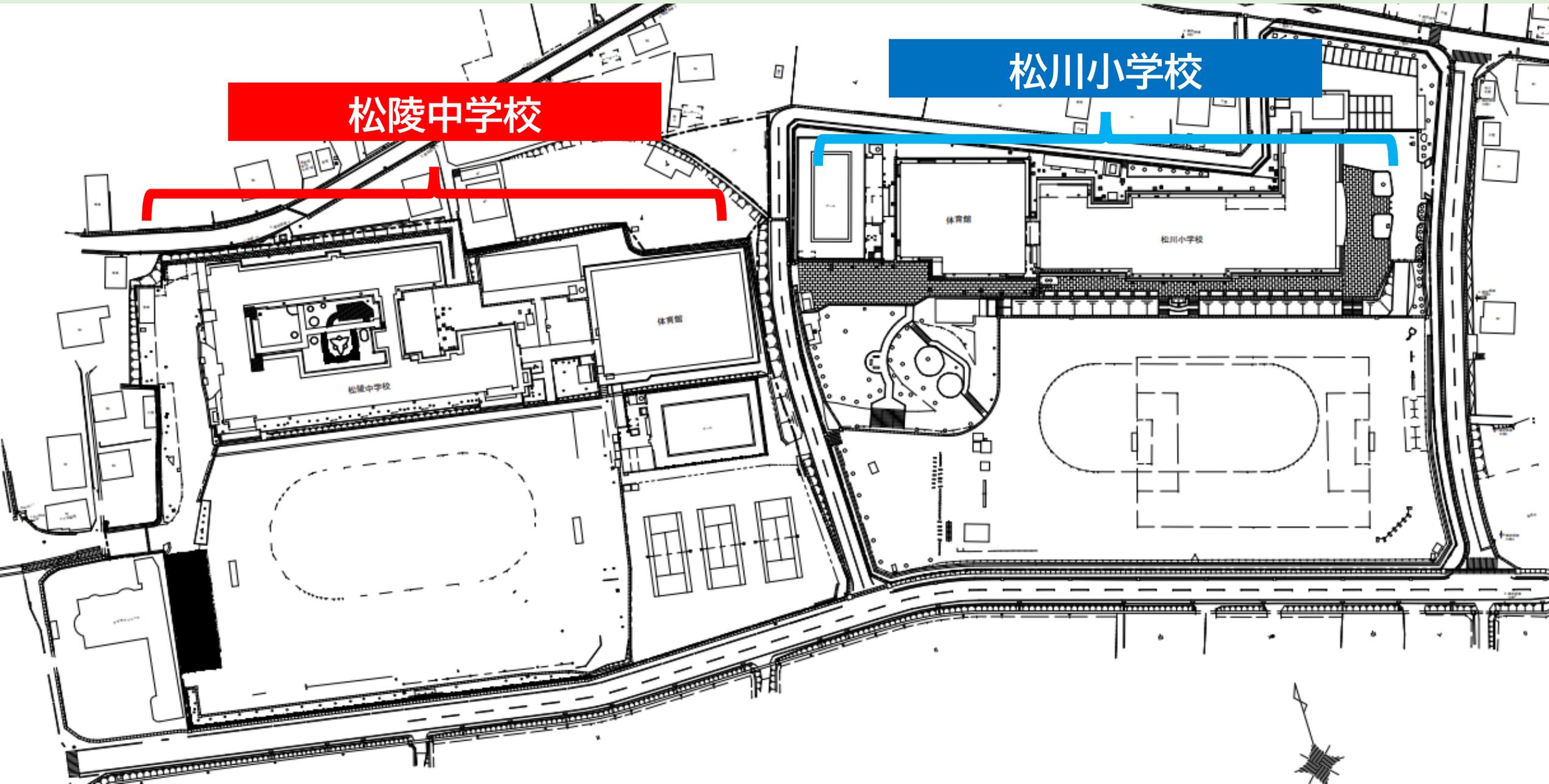


(※令和4年末閉校時12名)

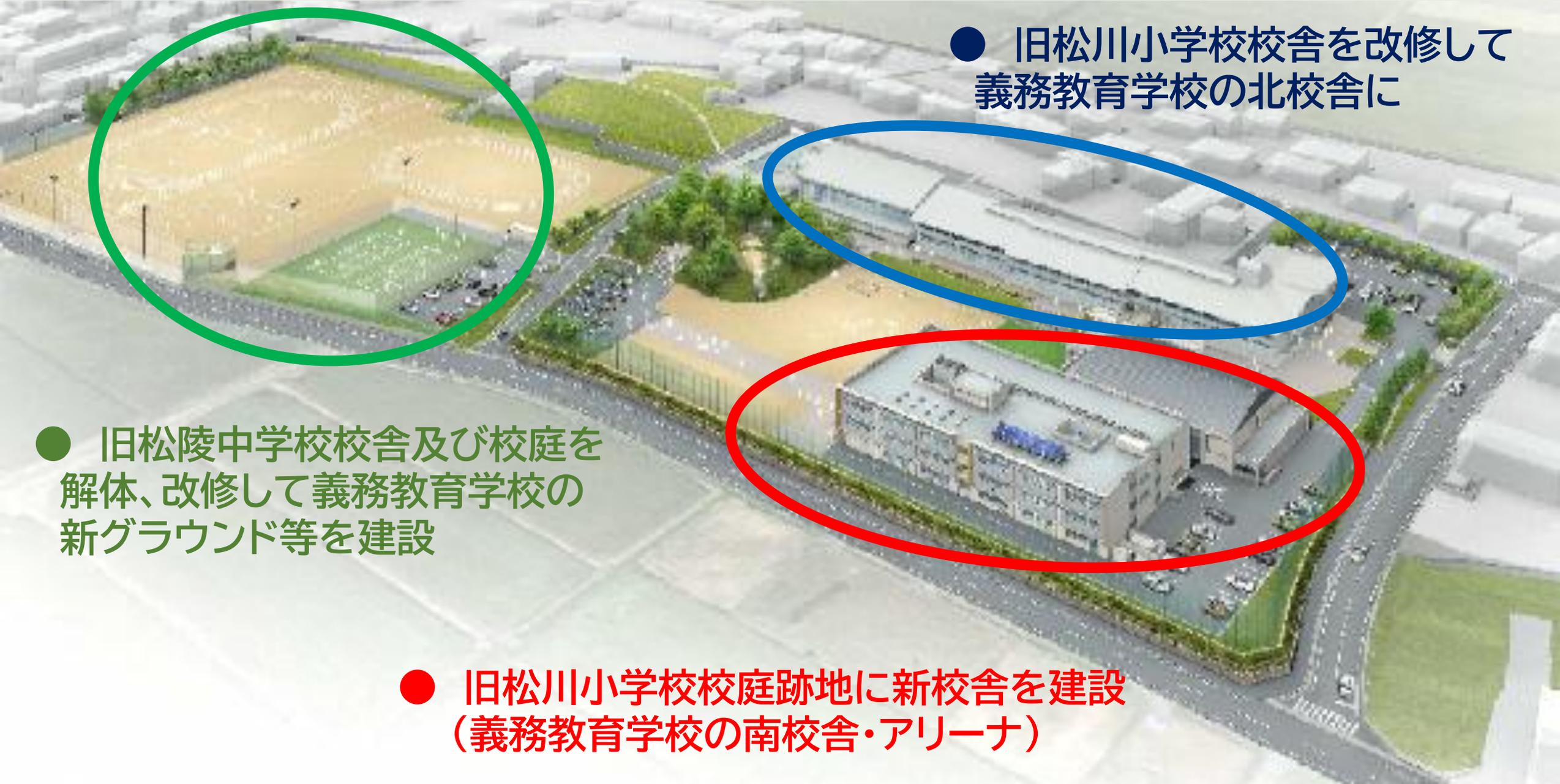
松陵義務教育学校学区 … 東西 約16.5km、南北 約8.5km

( )人数は令和6年5月1日現在の児童生徒数

### 3 校舎施設の特徴（開校前）



## 4 校舎施設の特徴（開校後）



● 旧松川小学校校舎を改修して  
義務教育学校の北校舎に

● 旧松陵中学校校舎及び校庭を  
解体、改修して義務教育学校の  
新グラウンド等を建設

● 旧松川小学校校庭跡地に新校舎を建設  
(義務教育学校の南校舎・アリーナ)

# 5 本市の「適正規模・適正配置に関する計画」に沿った再編の推進

**水原小**

**福島市立小・中学校の適正規模・適正配置に係る基本方針ならびに第一次実施計画（2018年～2027年）**  
 【ダイジェスト版】  
**福島市教育委員会**

人材や新学習指導要領で育成を目指す資質・能力について  
 国際的に活躍できる人材や、多様な文化や価値観を受容し共生・協働し  
 社会の中で生き抜いていくことができる人材  
 「人間性」の育成  
 自己の感情や行動を統制する能力  
 自らの思考プロセス等を客観的にとらえる力や多様性を尊重する態度  
 互いのよさを生かして協働する力やリーダーシップ、チームワークなど

2 9年間の豊かな教育環境の実現に向けて  
 ○ 小中接続推進事業、幼保小中接続推進事業、小中一貫教育研究モデル校の指定等、9年間の  
 学びの連続性による学力の向上と、中一ギャップの解消を目指した取組の推進  
 ○ 少子化に伴う学級数・児童生徒数の減少による教育効果や学校運営面の課題への対応  
 ・ 現在の小学校児童数はピーク時の48.6%、中学校生徒数は51.7%  
 ・ 今後の福島市立学校の在り方検討委員会からの「答申」を受けた教育環境の改善  
 ・ 教育環境に課題を有する学校に対する緊急の適正規模・適正配置の推進  
 ・ 教育委員会の強いリーダーシップの発揮

3 児童生徒の安全・安心の確保と公共施設マネジメントの視点から  
 ○ 防災・減災、学校施設の老朽化、公共施設マネジメント等の視点からの施設設置の見直し  
 ○ 児童生徒数の現状と推定を踏まえた学校施設総量の計画的削減

4 基本方針ならびに第一次実施計画の策定にあたって  
 ○ 上記を踏まえ、全ての学校における教育環境の充実・改善に向け、適正規模・適正配置施策の具  
 体化のための指針となる基本方針と、2018年度からの10年間の第一次実施計画を策定

**II 小学校・中学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方**  
**今後の本市の目指す学校適正規模**  
 教育の視点から、本市の目指す「適正規模の学級数」を下記の基準とする。

- 小学校においては、全学年においてクラス替えが可能となる各学年2学級以上、  
 全校で12学級～18学級
- 中学校においては、全学年においてクラス替えが可能となる各学年2学級以上、  
 全校で6学級～18学級

本市の学校の現状を踏まえ、当面は各学年1学級を維持できる規模を下限とする

3 施設更新と併せた総合的な視点からの学校規模適正化の推進  
 施設の老朽化ならびに小規模化が進行する小・中学校の施設更新にあたっては、防災や安全、  
 また公共施設マネジメントも含めた総合的な視点から近隣校との統廃合を推進し、よりよい教  
 育環境を整備します。  
 <対象校> 福島第一小学校 福島第四小学校 清明小学校 松陵中学校

1～3の他、人口偏在化の進行や学校を取巻く環境の急激な変化といった地域の動向等によ  
 り、学校教育に係る喫緊の課題が生じた学校においては、地域からの要望等に基づいた個別かつ  
 緊急の統廃合等を推進します。

地域における喫緊の課題解決を図るための個別の学校規模適正化・適正配置の推進（随時）  
 児童生徒数の減少に拍車がかかり、急速に在籍0となる（ことが予想される）小・中学校  
 については、その地域からの喫緊の要望を受けるとともに、十分な協議を踏まえた統廃合等  
 を推進します。

○ 統合後の学校においては、地域の状況を踏まえながら学校運営協議会制度を活用すること  
 より、地域との連携・協働の新たな関係を構築・強化するとともに、地域の教育力の向上を図  
 ることで、新たな学校を支える地域の環境を整備し、一層充実した教育活動を展開します。

**資料編**

小規模化の進行と学校規模の推移・将来推計

小学校児童数・中学校生徒数の推移（昭和27年～平成34年）

規模別学校数の推移（単位：校）

大規模校 □ 適正規模校 □ 小規模校 □ 過小規模校

25,225 R2の小学校児童数はピーク時(S55)の48.6%に減少  
 12,875  
 12,881  
 7,149  
 R2の中学校生徒数はピーク時(S62)の51.7%に減少

昭和27年 28年 29年 30年 31年 32年 33年 34年  
 小学校児童数(人) 中学校生徒数(人)

大規模校が減少し適正規模校が増加する傾向が見られる。また、学校の小規模化により、教職員配置数や組織、教育活動等の教育環境の大きな変化につながる懸念が生じる教育効果や学校運営への影響が懸念される。

**松陵中**

**松川小**

**金谷川小**

**下川崎小**

# 6 福島市立松陵義務教育学校開校までの経緯(令和7年度開校)

年度		平成30	令和元	2	3	4	5	6	7	
項目		説明会・準備					開校にむけての準備			
説明会等		地元への説明会	計画に係る地区・保護者説明会			義務教育学校についての地域・保護者説明会				
					まつかわの教育を考える会					
学校再編成	松陵中					開校に向けての準備				
	松川小					開校に向けての準備				
	水原小		統合について地元の説明・協議、令和4年に同意				松川小へ統合			
	下川崎小		統合について地元の説明・協議、令和6年に同意							
	金谷川小		統合について地元の説明・協議、令和6年に同意							
設置手続き					設置認可準備		設置認可			
教育課程等						教育課程準備委員会(教育課程の完成 等)				
開校準備等						開校準備委員会(校歌、校章 等)				
松陵中校舎			基本計画・測量	基本設計	実施設計	建築工事・外構・解体				

松陵義務教育学校スタート

## < 目指す子ども姿 >

	<b>ファースト ブロック</b> (1・2・3・4年生)	<b>セカンド ブロック</b> (5・6・7年生)	<b>サード ブロック</b> (8・9年生)
<b>主体性</b>	自分の思いや考えを、伝えられる子ども	目標をもって、進んで取り組む子ども	失敗を恐れず、チャレンジし続ける子ども
<b>協働性</b>	友達によさに気づき、力を合わせる子ども	互いによさを認め合い、助け合う子ども	仲間とともに地域のよさを認め合い協力できる子ども
<b>創造性</b>	やりたいことを見つけて、工夫できる子ども	新しい自分に向って、挑戦する子ども	自分で考え、自分で動き、自分を磨き続ける子ども

# 8 松陵義務教育学校の特色 ～探究活動を核とした教育課程～

ブロック	1stブロック				2ndブロック			3rdブロック	
学 年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
弾力的なカリキュラム	前期課程 (小学校学習指導要領)						後期課程 (中学校学習指導要領)		
校 舎	前期課程校舎				後期課程校舎				
指導形態	学級担任制				教科担任制				
	教科担任制と前・後期課程相互に乗り入れ授業								
地域探究学習等	生活科	総合的な学習の時間学習							
	ふるさとの人・物・自然・伝統・歴史・文化等について9年間を通して系統的に学ぶことで郷土愛を育む								
異学年交流行事	縦割り班での活動・異学年交流活動								
	3年・7年交流、4年・8年交流や清掃活動等異学年が一緒に活動する機会を充実させ、思いやりの心やあこがれ、目標をもたせる								

生活科・総合的な  
学習の時間

「まつかわ学」

= 地域学習

## 9 各学年の探究課題

学年	3年	4年	5年	6年	7年	8・9年 (縦割り)
テーマ	町づくり	環境	食	伝統文化	勤 労 (職場体験)	職 業 松川ゼミ
探究課題	町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織	身近な自然環境とそこに起きている環境問題	食をめぐる問題と地域の農業や生産者	地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々	働くことの意義や働く人の夢や願い	職業の選択と社会への貢献  地域探究と松川創生

# 10 松陵義務教育学校の特色

# まつかわ学の実際

3年総合  
クマガイソウの生態調査



7年総合  
職場体験



5年総合  
まつかわ伝え隊



8・9年総合  
松川ゼミ(2学年混合班)



# まつらぼ①(協働的探究活動)の実際

<後期課程も単位時間を45分に統一>  
5分×30h×35週  
≒113コマ

地域交流グループ  
園児に読み聞かせ



地域貢献グループ  
異世代サミット



夢プロデュースグループ  
地元FM局に出演・発信

## 12 松陵義務教育学校の特色

### まつらぼ② (個別探究活動)の実際



### まつらぼ③ (探究基礎)の実際

# 13 松陵義務教育学校の特色

## 計画的な異学年交流活動

入学式・1年生を  
7年生がエスコート



4年～9年の合唱部  
と合奏部の演奏



全校行事スポーツ  
フェスティバル



縦割り班による  
話し合い



# 14 松陵義務教育学校の特色

4月:8年生が1年生の給食お手伝い



5月:中体連壮行会の応援団練習に1年生飛び入り



# 日常生活も成長のチャンス

何気ない休み時間のひととき



6月:縦割り清掃開始  
1~9年生×40班



# 15 まとめ

学校再編を機に地域が応援団に！そして地域を誇りに！



校訓「歳寒松柏」・・・人生において厳しい状況に直面しても、自分をしっかりもち、折れない、諦めない芯の強い心を持ち続けること。論語より

# 福島県福島市立 松陵義務教育学校



## 松陵義務教育学校 校歌

作詞：和合 亮一  
作曲：大友 良英  
編曲：高橋 佑成

### 一 空の

そのさき  
かけていく風  
はじまりの道  
まつすぐに

### 二 朝の

そのさき  
つぼみやさしく  
はじまりの歌  
あおいやま

### 風の

そのさき  
かけていく夢  
のびていく腕  
しなやかに

### こえの

そのさき  
みちびくこだま  
むれとぶかなた  
うつくしく

### めぶく

いぶく

### ことば

つむぐ

### まなぶ

みちる

### きずな

つなぐ

### みらい

そのさき

### そのさき

おおぞら

### そのさき

てのなか

### そのさき

かがやく

### そのさき

つかもよう

### そのさき

つばさ

### そのさき

ひかり

### そのさき

はるか

### そのさき

はるか

### そのさき

松陵の

### そのさき

松陵の

### そのさき

鳥の

### そのさき

松陵の

### そのさき

松陵の

### そのさき

松陵の

### そのさき

鳥の

### そのさき

松陵の

